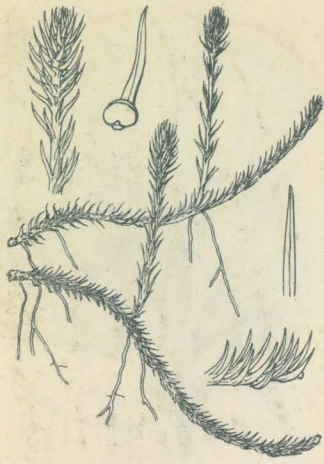


第 2919 圖

ひかげのかづら科



やちすぎらん

Lycopodium inundatum L.

我邦北部並ニ中部ノ山原或ハ山足ノ濕潤地ニ生ズル多年生常緑草本。莖ハ細キ針線状ニシテ横臥シ長サ8-18cm許アリテ往々疎ニ分枝シ前方ハ鮮綠色ニシテ生活シ後部ハ漸次ニ朽腐シ、全體稍軟質ヲ呈シ、處々ヨリ短キ白色鬚根ヲ下シ、莖ヲ通ジテ多數ノ偏生葉ヲ密生ス。葉ハ長キ鱗片状ニシテ狭線形ヲ成シ鋭尖頭ヲ有シ、全邊ニシテ中脈ヲ有シ、多少光澤アリ、長サ5-6mm許アリ。一莖ニ長サ4-5cm許ノ一枝ヲ直立セシメ、頂ニ一胞子穂ヲ立ツ。胞子穂ハ圓柱状ニシテ淡綠色ヲ呈シ長サ2-3cm許アリ。苞ハ先端長ク延出シテ漸尖セル長卵形ニシテ略直角ニ開出シ、每苞腋ニ黃色ノ一子囊ヲ擁ス。和名ニシテ谷地杉蘭ハ其莖葉ノ状スギニ似テシテ地即チ濕潤ノ地ニ生ズルヨリ云フ。

第 2920 圖

ひかげのかづら科



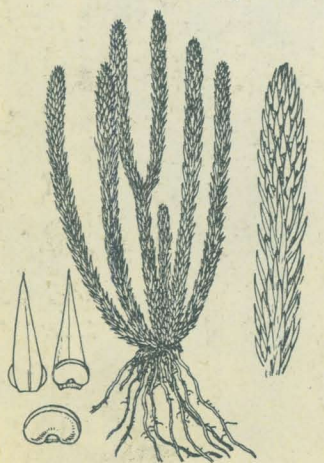
ひめすぎらん

Lycopodium chinense Christ.

(=L. Miyoshianum Makino.) 北地ノ高山樹下ノ地ニ生ズル多年生常緑草本。莖ハ高サ7-15cm許アリテ斜上或ハ直上シ下部ハ多少地面ニ横臥シ、數次又狀ニ分枝シ、枝ハ直立シテ多數叢出シ、キ線形ニシテ緑褐色ヲ呈シ、下部ニ細キ根ヲ發出ス、葉ハ長サ4-5mm許アリ、莖ヲ通ジテ密生シ、線状披針形ニシテ鋭尖頭ヲ有シ、綠色ニシテ光澤アリ、硬質ニシテ上部ノ者ハ斜上シテ開出シ、下部ノ者ハ稍反方向シテ開出ス。子囊ハ梢部ノ葉腋ニ生ズ。梢ニハ通常多クノ芽體ヲ生ツレバ地面ニ新仔苗ヲ生ズ、芽體ハ凹頭ニシテ兩翼ヲ有シ無柄ニシテ綠色ナリ。和名ハ姫杉蘭ノ意ニシテ全體小形ナレバ姫ト云ヘリ。

第 2921 圖

ひかげのかづら科



こすぎらん

Lycopodium Selago L.

高山地帯ニ生ズル多年生常緑草本。莖ハ稍褐色ヲ帶ビタル針線状ニシテ高サ5-10cm、質強剛ニシテ數回又狀ニ分枝シ、上部ノ枝ハ互ニ密接シテ相集リ、基部ハ通常多少横臥シテ鬚根ヲ下セリ。葉ハ莖ニ密生シ、ひめすぎらんニ似タルモ其幅之レヨリ廣シ、鍼状披針形或ハ狭披針形ニシテ鋭尖頭ヲ有シ全邊ナリ、長サ4-5cm、幅約1mm許アリ、其質厚ク、多少光澤ヲ有シテ硬ク、通常反曲セズシテ上向シ中脈無シ。上部ノ葉腋ニ各一子囊ヲ有シ其葉ハ全邊ナル披針形ヲ成シテ尖レリ。モ全草韌ダ能クひめすぎらんニ類スト雖モ本種ハ其葉硬直ニシテ其幅稍廣キヲ以テ區別シ得ベシ。和名ハ小杉蘭ノ意ニシテ全體小本ナレバ小ト云ヘリ。

ひもらん

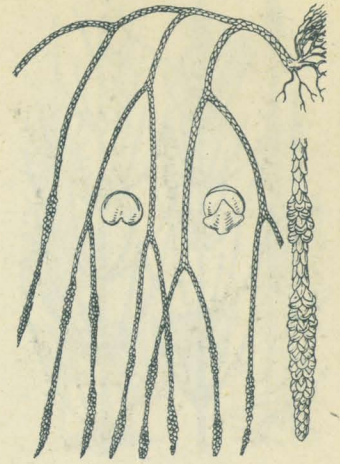
一名 いはひも

Lycopodium Sieboldii Miq.

溫暖地ノ山中ニ自生スル多年生常緑草本ニシテ老樹幹等ニ着キテ懸垂ス。莖ハ一柱ニシテ叢生シテ基部ニ根ヲ下シ、細長圓柱形ヲ成シテ長サ20-50cm許ニ達シ、再三又狀ニ分岐シ、多數ノ細紐状ヲ成シ鬚状ニ垂下ス。葉ハ殆ンド莖ニ密着シテ鱗片状ニ細小ナル鱗片状ヲ呈シ、菱形ニシテ長サ2mmニ足ラズ、厚クシテ背面隆状ヲ呈シ、腹面ハ半バ莖ニ融合シ、先端ハ爪状ニ曲リテ鋭尖頭ヲ成ス。子囊ハ枝梢ノ葉間ニ生ジテ連續シ、腎臟形ヲ成シテ黃色ヲ呈シ、其部ノ葉ハ多少短クシテ幅廣シ。草状珍奇ナルヲ以テ往々觀賞品トシテ愛植スルヲ見ル。和名紐蘭・岩紐共ニ其紐状ヲ成セル草状ニ基キテ云フ。

第 2922 圖

ひかげのかづら科



なんかくらん

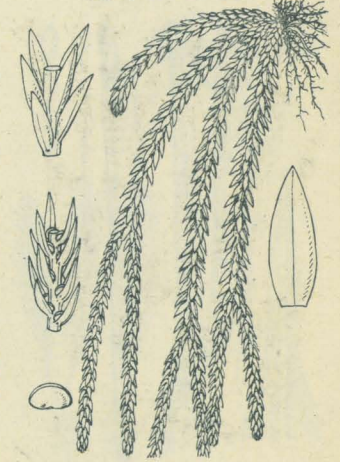
Lycopodium Fordii Baker.

(=L. subdistichum Makino.)

暖地ノ山中ニ生ズル多年生常緑草本ニシテ樹幹等ニ着シテ垂下ス。莖ハ長サ20-40cm許、二又状ヲ成シテ數次分岐シ、下部ニ多數ノ根ヲ生ズ。葉ハ密生シテ元來六列ヲ成スト雖モ多少兩列スルノ外觀ヲ呈シ、披針形ニシテ鋭頭ヲ有シ全邊ニシテ無柄ナリ、長サ10-15mm、幅2-3mmニシテ中脈ヲ有シ、綠色或ハ黄綠色ヲ呈シテ光澤アリ。枝ノ先端ニ胞子穂ヲ出シ長サ5-15cm、時ニ又狀ニ分岐シ、小形ノ葉ヲ有シ、其葉腋ニ腎臟形ノ子囊ヲ生ズ、其葉ハ長サ5mm許ニシテ下部ハ廣ク卵状ヲ呈ス。和名ノ意義未詳ナリ、昔服部南郭ト云フ學者アリシガ恐ラク此人トハ關係無カラシ。

第 2923 圖

ひかげのかづら科



すぎな (問荊)

一名 つぎまつ

Equisetum arvense L.

我邦諸州普ク原野等隨處ニ生ズル多年生草本。地下莖ハ長ク地中ヲ横走シテ暗褐色ヲ呈シ節ヨリ地上莖ヲ出ス、又往々節上ニ細毛アル小塊ヲ着ク。地上莖ハ各二種類アリテ一ヲ胞子莖ト云ヒ一ヲ榮養莖ト稱シ、其形狀ヲ異ニセリ。榮養莖ハ高サ30-40cm許、綠色ノ圓柱形ヲ成シ縱稜アリ、節ヲ有シテ多數ノ枝ヲ輪生シ密ニ繁茂シ、節ニハ退化シタル葉ヨリ成ル鞘ヲ有シ、節細キ齒片ヲ具フ、其輪生セル小枝ハ四棱柱ニシテ節四齒アル鞘ヲ具フ。春季榮養莖ニ先チテ先ツ胞子莖ヲ出シ、通常つくし又ハつくづくシト稱セラレ、平滑軟質ノ圓柱形ニシテ淡褐色ヲ帶ビ高サ10-25cm、齒片アル大ナル鞘ヲ具ヘ上部ノ者ハ各相隔タリテ莖ニ着シテ筒状六棱形ノ胞子葉ヲ具ヘ下部ニ子囊ヲ着ケ、淡綠色ノ胞子ヲ吐出ス、胞子ニハ四條ノ彈絲アリ乾燥ニ由テ卷縮アル特性ヲ有セリ。夏時ニ及ンデすぎナノ榮養莖頂ニ子囊穗ヲ出スコトアリ、即チ是レ一時ノ現象ニシテ固定的ノ者ニ非ラズ、之レヲオムチすぎナ (實持すぎナ) ト云フ、即チ forma campestre (=var. campestre Schultz.) 是レナリ。古來つくしヲ土筆ト書スルハ日本ノ名ニシテ支那ニテハ之レヲ筆頭菜ト云フ、春時之レヲ食用トシ、又すぎナモ嫩キ時ハ食ベシ。和名杉菜ハ其草状ニ基キテ云ヒ、接ぎ松ハ小兒其枝ヲ鞘ヨリ抽キ又納レテ遊ブ時ノ名ナリ。

第 2924 圖

とくさ科

